



生成AI利用のルールブック

川口市立高等学校 生徒の皆さんへ

主役はあくまで「あなた（人間）」です

人間中心の原則



AIは便利な「副操縦士（コパイロット）」です。
しかし、最後に決断し、責任を持つのはパイロットである「あなた」です。
AIに使われるのではなく、AIを「使いこなす」人になりましょう。

利用には「切符」が必要です

条件1：保護者の同意



生成AIを利用するには、保護者の「同意書」の提出が必須です。
おうちの人とガイドラインを読み、話し合ってから提出してください。
同意書がない場合、学校のアカウントで生成AIは使えません。

指定された「乗り物」だけが安全です

条件2：学校指定アカウントの利用



【OK】 学校指定のアカウント
kawaguchicity-hs.ed.jp

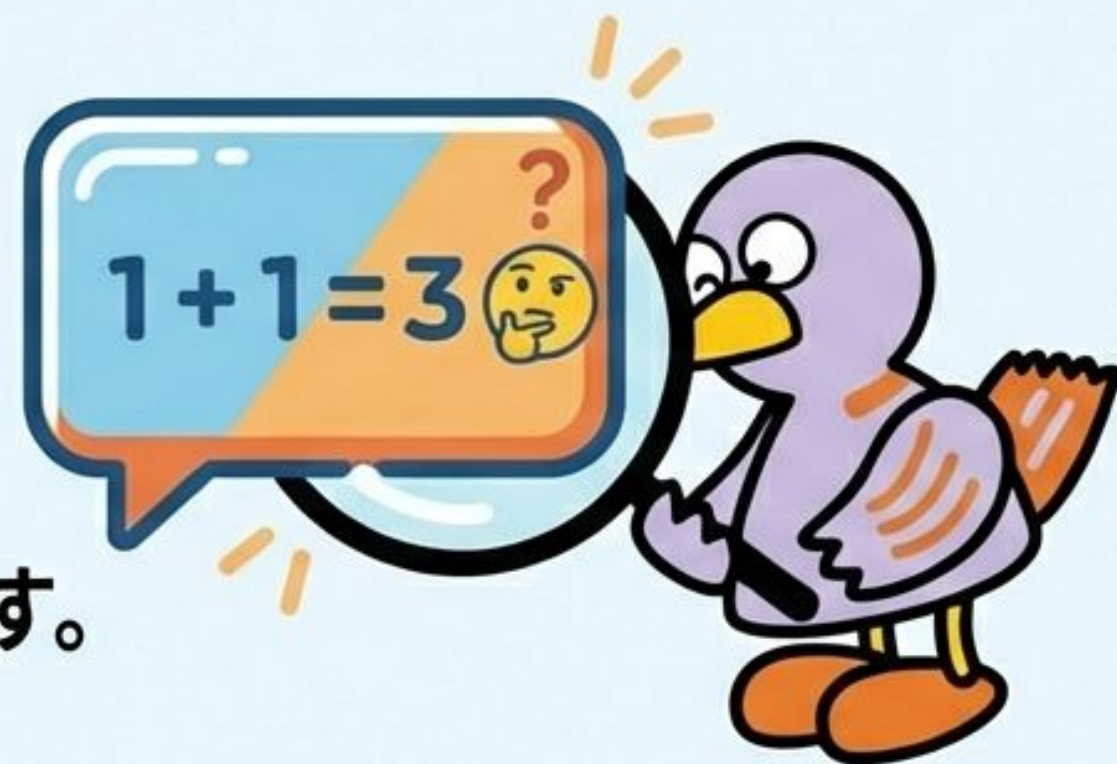


【NG】 個人のアカウント
(Gmail、iCloudなど)

AIは「自信満々にウソをつく」ことがあります

ハルシネーション（もっともらしいウソ）

AIの答えが正しいとは限りません。
計算間違いや、架空の歴史を語ることもあります。



【ルール】 その情報は本当か？必ず自分で「ファクトチェック（事実確認）」をしてください。

情報の正確性を判断するのは、AIではなく「あなた」です。

AIに手伝ってもらったら「明記」しよう

AIの回答を参考にした場合は、隠さずに正直に書きましょう。



【禁止】 個人情報は絶対に入力しない！

プロンプト（指示文）に以下の情報を入れてはいけません：

- × 氏名・顔写真
- × 成績・健康情報
- × 友達や先生の個人情報



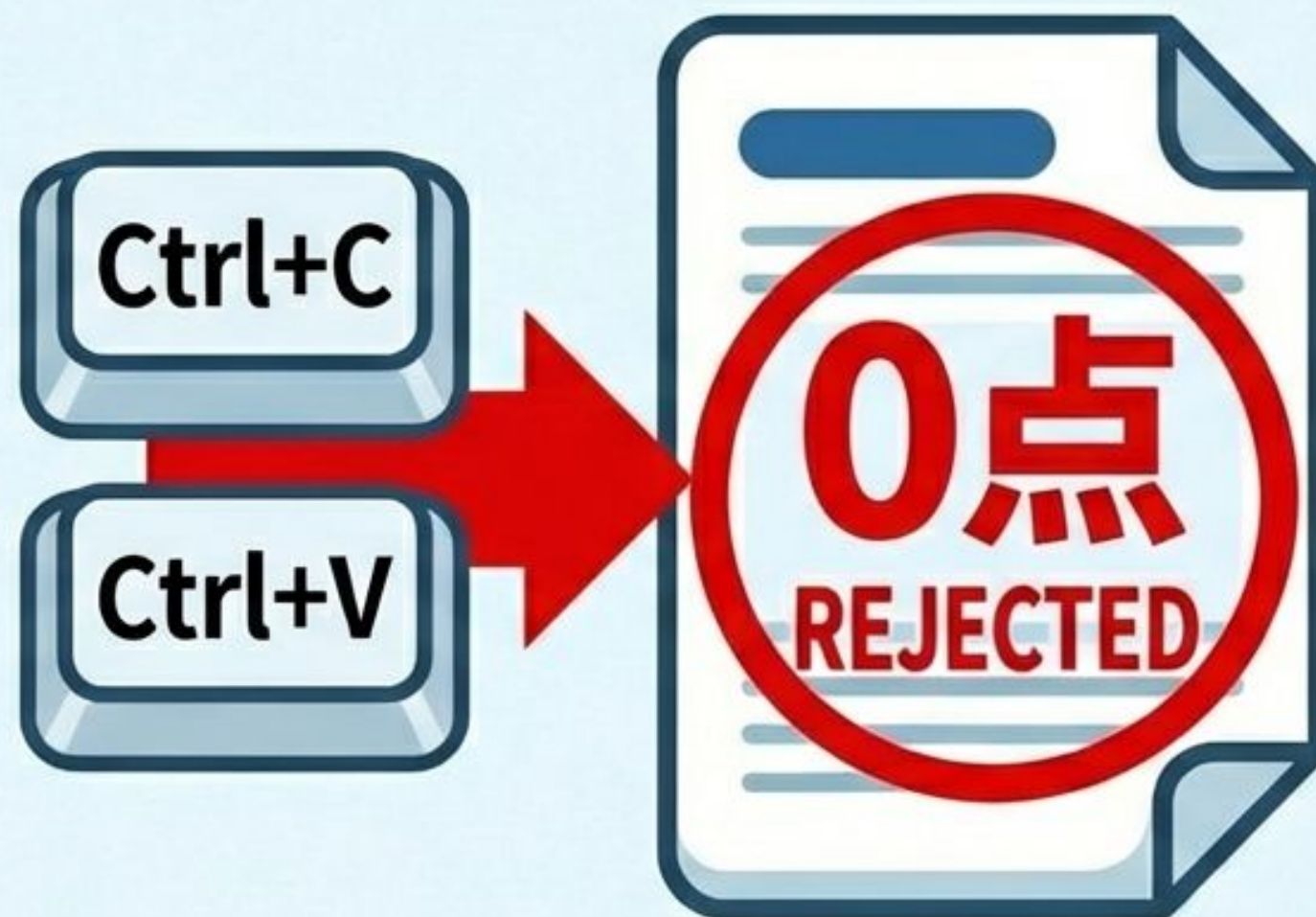
入力したデータはAIに学習され、世界中に流出するリスクがあります。

【禁止】「コピペ」して自分の作品にしない

生成された文章や画像を、そのまま「自分の成果物」として提出することは禁止です。

コンクールやレポートでそれを行うと「不正行為」になります。

AIはあくまで「下書き」や「アイデア出し」のパートナーとして使いましょう。



【禁止】心が動く場面での「お任せ」

あなたの「感性」や「独創性」が求められる場面でAIを使うのはやめましょう。

対象例：

- 読書感想文、初発の感想
- 詩、俳句の創作
- 美術や音楽の表現

自分の心で感じ、自分の言葉で紡ぐことが、あなたの成長につながります。





【注意】著作権についての注意

授業での利用は著作権法(第35条)で守られていますが、それ以外は注意が必要です。

注意が必要な場面：文化祭、部活動、地域のイベントなど。これらの活動でAI生成物を使う場合は、著作権者の許諾が必要になることがあります。



文化祭

地域のイベント



生成AI利用のクイックチェック

- 保護者の同意書は提出しましたか？
- アカウントは kawaguchicity-hs.ed.jp ですか？
- 個人情報（名前・顔写真）は入れていませんか？
- AIの答えを自分でファクトチェックしましたか？
- 最後に「自分の頭」で考え、自分の言葉にしましたか？

ルールを守って、学びを広げよう



正しく使えば、AIはあなたの可能性を広げる強力な味方になります。

困ったことや、わからないことがあれば、すぐに先生に相談してください。

さあ、新しい学びのフライトを始めましょう。